

多様性を当たり前に

オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけでなく文化をも包括した地球最大規模の「平和の祭典」。JALは、東京2020 NIPPONフェスティバルのオフィシャルパートナーとして、共生社会をテーマにした『ONE-ON New Episode - Presented by Japan Airlines』を応援しています。

共に生きるってなんだろう？

「共生社会・多様性社会」の実現を「目指す」という言葉が街に溢れています。でも「目指す」っておかしいですよね。だって私たちは既に共に、多様に生きていますから。でも現実には、個々の特性が理解されなかったり、尊重してもらえなかったりする事で、生きづらさを感じている人がたくさんいます」

俳優であり、誰もが自分らしく生きられる「まぜこぜの社会」を提唱する一般社団法人 Get in touch 代表の東ちづるさんの言葉です。

「特性を頭では理解しているつもりでも、なかなか実感はできていないのかもしれない。そこで東京2020大会の公式文化プログラム「東京2020 NIPPON フェスティバル」の一つ『ONE』のオンライン配信映像『MAZE KOZE アイランドツアー』では、

「共生・多様性」を体験、可視化できる企画の総合構成・演出・監督を手がけることにしました。私の社会活動29年の集大成ともいえる作品です」と熱く語る東さん。

8月22日(日)の16時から、9月末まで無料で配信される映像には、東さんはもちろん、歌手の平原綾香さん、お笑いタレントの小島よしおさん、義足のダンサー・大前光市さん、ダウン症の書家・金澤翔子さん、2019年の『JAL LGBT ALLY チャーター』にもご搭乗いただいたドラッグクイーン・ロドリガン・ロドリギダさんといった、多彩なメンバーが出演。要所所にはJALの航空機のモックアップ(実大模型)も登場し、個性溢れる「島々」を「アイランドホッピング」していきます。

「まずは気軽に、そしてシンプルに、多様性の居心地のよさを

楽しんでください」と東さんは微笑みます。

ダンスも、演劇も、アートも

『ONE』では、こうしたオンライン配信映像のほか、神奈川県で行うリアルパフォーマンスアートイベント『Our Glorious Future - KANAGAWA 2021 - カガヤクミライガミエル カナガワ2021』も予定しています。世界的ダンサー・森山開次さんが率いるダンス部門、多田淳之介さんの演劇部門、藤川悠さんがセレクトするアート部門のほ

か、音楽、伝統芸能など各ジャンルを代表するアーティストが、「共生社会の実現に向けて」をテーマに、それぞれの分野の枠を超え、障がいや年齢、ジェンダー、国籍の別なく輝ける未来の姿を発信します。

平和の祭典、文化の祭典

オリンピックの根本原則でもある「生き方の創造を探究すること、平和な社会の推進を目指す」ことに立ち返り、JALはこれからも、誰もが誰かに優しくなる寛容でフラットな社会、多様な人々と共に歩んでいける社会を応援しています。

東京2020 NIPPON フェスティバルと『ONE』が、社会の分断を超え、楽しみや感動を分かち合えるものになることを願っています。



1

1.『MAZEKOZE アイランドツアー』監督であり「おてんとうさま」役の東ちづるさん。2.森山開次さん(左)と大前光市さん(右)のダンス。



「カタイロツケ(愛)の島」で歌声を響かせる平原綾香さん。



『MAZEKOZE アイランドツアー』より、「ケモノの島」。

開催概要

●公演&展示&配信

Our Glorious Future ~KANAGAWA 2021~

8月14日(土)、15日(日)
一部8月10日~22日
神奈川県立音楽堂、神奈川県立青少年センター、神奈川県民ホールほか

●オンライン映像配信

MAZEKOZE
アイランドツアー

8月22日(日)16:00~
配信は9月末までご視聴いただけます(無料)。

詳細は左記Webサイトよりご確認ください。

※予定は変更となる場合があります。

<https://kanagawa.nippon-fes-one.tokyo2020.org/>

<https://nippon-fes-one.tokyo2020.org/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。



今回のテーマに該当する目標